

(株)ひらばやし農産 代表取締役社長

平林保信さん

「府の土地改良事業で大区画になった農地を守ろうと任意団体の甲山区営農組合の法人化を目指したが、地域で合意に至らず自らの力で法人化に踏み切った」と話すのは、京丹後市久美浜町甲山の「(株)ひらばやし農産」代表取締役社長の平林保信さん(68)。

同地区は日本海の久美浜湾に面して平坦地に農地が広がるが、農業用水路に海水が逆流し塩害が多発していたことから、府が塩害対策を含め1998年から約40畝の圃場整備を行い、2006年に完成した。

明日へ向かって駆ける

農業法人の経営者は語る

当時、同組合の組合長だった平林さんは「1区画が30畝以上と以前の倍以上になった圃場を法人化で守っていかう」と提案したが合意を得ることができなかった。

「このままではせっかく整備した農地が使われなくなる。どうすべきか」。考え抜いた末、自らの経営拡大で対応すること

を決意。そして2011年8月に同社を設立した。

当初は個人で預かっていた農地3畝も合わせて5畝だったが、年々拡大し、現在は近隣の集落も含め約18畝を経営する。水稲の田植えなどの農作業受託を2畝、米の乾燥調製も受託する。さらに、農家で余った米を買い取ってJ・A京都を中心に出

荷している。妻の千代美さん(65)や長男の克哉さん(36)も仕事に携わる他、農繁期には別に4人を臨時雇用する。

「預かった農地はしっかり守る」という強い信念こそが平林さんの経営のモットーだ。「法人の経営としては厳しい面もある。しかし、それ以上にやりがいや楽しさがある。今後は、地元と手を組んで、景観の良さを生かした観光農園や、地域の若者を雇用して耕作放棄地をなくす取り組みを進めていきたい」と意欲を見せる。

.....

■法人所在地 京丹後市久美浜町甲山497。(電)0772(83)1094。

■法人概要 2011年8月設立。役員2人。社員1人。臨時雇用者4人。主な農作物は主食米8畝、加工米5畝、酒造米2・5畝、冬野菜2畝、黒大豆1畝、ハウス20畝でみず菜、キクナなど。農機はトラクター3台、田植え機・コンバイン各1台、乾燥・調製機3基。



▶地域の農業と農地を守るため法人を立ち上げた平林さん

「農地守る」信念強く